

# 志布志市庁舎等の在り方検討委員会 (令和3年度第2回) 会議資料

---

## 1 前回会議の意見

# 1 前回会議の意見

## (1) 今後の庁舎の在り方

- ・ 人口減少、行政のデジタル化等を踏まえ、将来的には本庁方式への移行の可能性もある。
- ・ 庁舎以外の公共施設等も含めて考えていく必要がある。
- ・ 将来的には本庁方式になると思うが、支所窓口は必要であり、どの程度の規模になるのかが重要である。
- ・ 松山支所は、やっちくふれあいセンターなど他の施設との複合化・集約化を図る。
- ・ 有明庁舎は、災害に強いので、防災拠点として生かす。

## (2) 新庁舎の位置

- ・ インターチェンジのそばで高台がいい。
- ・ インターチェンジから近い場所の方が利便性が高い。
- ・ 支所の窓口が充実していれば、アクセス面を重要視することはない。
- ・ 利便性の高い場所でもよいが、まちづくりの観点からまちなかにあった方がよい。

## (3) 新庁舎の規模・構造

- ・ 民間はリモートワークやフリーアドレスを導入しており、時代に即した小規模なものであれば将来的な負担が少なくなる。
- ・ 今後の人口減少を踏まえた規模でよい。

#### (4) 新庁舎の機能性

- ・ 市民交流スペースなどの人が集まる機能などまちづくりのために庁舎をどう生かしていくかは、大事な視点である。
- ・ 避難所等の防災的視点は、必要である。

#### (5) 新庁舎の建設に係る財源

- ・ 新庁舎を建設するのであれば、次世代の人たちの負担にならないよう基金を積み立てる。

#### (6) その他

- ・ 現庁舎を生かしていくことと新庁舎を建設することの両方を議論していく方がよい。
- ・ 新庁舎の建設の議論は、いずれ必要になってくるので避けて通れない。
- ・ 新庁舎の建設について、市民の意見を聞く場を設けるべきである。
- ・ 民間企業と一体的に整備し、民間の資金やノウハウを活用する方法もある。
- ・ 庁舎の未使用部分を民間に貸し出し、維持管理費を捻出するなど、今ある財産を活用することも必要。
- ・ 地域コミュニティの中で公共施設の在り方を議論していく。
- ・ 人口が減り、税収も減ることが予想される中で次世代の方々の負担にならないためにも新庁舎の建設は慎重に考える必要がある。